令和８年10月号

安全ニュース

令和８年度安全・適正就業標語が決定しました

皆様からたくさんの応募をいただきました。
ありがとうございます。

最優秀「慣れと過信は危険のサイン　ルールを守って安全作業」

小諸北佐久シルバー人材センター　　柴田　静夫　様

優秀　　「衰えを　認める勇気が　事故防ぐ」

下伊那西部シルバー人材センター　　高坂　博　様

優秀　　「声掛けが　仲間を守る　第一歩」

飯田広域シルバー人材センター　　今村　洋二　様

佳作　　「再チェック　そのひと手間が　事故防止」

木曽シルバー人材センター　　井ノ上　敏子　様

佳作　　「無理はせず　ゆとりの心が　身を守る　」

諏訪市シルバー人材センター　　原　美智子　様

令和７年度　重篤事故の発生状況

全国シルバー人材センター

☞就業中の重篤事故を原因別でみると「墜落・転落」が半数を占める。

就業中の重篤事故３５件を原因別でみると、「墜落・転落」が１７件で全体の半数を占めており、圧倒的に多い。

次いで転倒７件となっている。

保護帽、安全帯を着用せずに事故を起こしているなど就業時のルールを順守せず重篤事故に遭うケースが後を絶たない。

☞就業中の重篤事故を仕事の内容別で見ると「剪定」が１６件で４６％を占める。

次いで「草刈り」、「清掃」、その他となっている。

☞剪定・伐採作業中の転落・墜落事故防止が重要

剪定作業中の転落・墜落事故の防止が重要となる

三脚（脚立）の使用を安全に！！

一旦事故が起きると重症化いたします。三脚（脚立）使用の正しい知識、適切な予防策を身に着けて、三脚（脚立）からの転落・落下を防ぎましょう。

➢脚立使用のポイント

１　脚立設置時に、最下段に乗って確認

➢脚立の安定を確認する

①脚立に上る前に、脚立最下段をトントンと踏み込むようにして、脚立が安定して設置されているかを確認する。



②脚の長さを調整できる脚立も積極的に活用する。

③脚立が不安定になる場所では、同僚に支えてもらう。

２　天板に乗らない

➢高さに応じて脚立を変える
①天板に乗るなど、不安定な姿勢での高所作業は厳禁です。
②天板に警告・注意ラベルを貼付ける。
農業における高所作業は、足場が不安定な場所であることが多く、その危険性を認識して作業を行うことが重要です。

３　開脚防止チェーンを掛ける

➢チェーンの長さを調整する
作業前に開脚防止チェーンを確認する。脚立での高所作業を安全に行うために、基本をマスターしましょう。

４　昇降時に重いものを持たない

➢収穫物は、紐などで吊るして下ろす
重いものを持つなど、不安定な姿勢での高所作業は厳禁です。また、作業時はヘルメットを着用しましょう。



５　直上直下で作業する

➢身を乗り出さず、こまめに脚立を移動する

６ 樹木等にロープ等で固定して三脚脚立の転倒防止の措置をする

７ できるだけ脚立等を使用する作業をなくし、地上作業で行う

止むを得ず 1.5m 以上の高い所での作業を行う場合は、安全な作業床(踏さん等)を確保して、常時保護帽・墜落制止用器具（安全帯）を使用して作業を行う



８　三脚脚立に係る後付け金具の販売について

➢平成３０年３月１２日付 29 県シ連第 246 号「三脚脚立に係る後付け金具について」により三脚脚立の使用に際しては、後付け金具を必ず使用され安全対策の実施を徹底していただきますようお願いいたします

三脚の安全な使い方

長谷川工業株式会社資料抜粋





昇降面の左右方向に転倒しやすいので、十分注意してください。

三脚の上で作業する時は、天板を含め上から４段目(180cmタイプ以下は３段目)以下の踏ざんに乗り、天板や踏ざんに身体を当て、安定させた状態で作業してください。

昇る前に、後支柱の調節金具が確実にロックされていること、開き止めが確実に掛かり、外れていないことを確認してください。樹木等にロープ等で固定する。

三脚の危険な使い方







【木の枝や物を無理やりに押したり引いたりしない】

無理に押したり引いたりすると、反動で脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。チェンソーやトリマーなど身体の安定が得られない道具は使用しない

【天板に乗らない】

バランスをくずして、転倒や転落の危険があります







【三脚から身体を乗り出さない】

【三脚を背にして昇り降りしない】

【折り畳んだまま、木の幹や、枝、塀などに立て掛けたり、水平にして使わない】

最優秀賞

令和8年度
安全就業標語

『慣れと過信は危険のサイン　ルールを守って安全作業　』

小諸北佐久シルバー人材センター　柴田　静夫さん

公益社団法人　長野県シルバー人材センター連合会
〒380-0841　長野市大門町 51 番地 1　柏与ビル 3 階
Tel：(026)237-4680　Fax：(026)237-5665